



▲新入学のみなさんにお勧めのコーナー

■入園・入学・進級おめでとうございます
甲佐町生涯学習センター図書室の「利用者カード」は、小学校一年生以上でお申し込みをされた方に発行しています。小学校新一年生の皆さん、ぜひ自分の利用者カードを作って、たくさん本を読んでください。今月は新入学のみなさんにおすすめの本のコーナーを作りました。学校のことかわかる本や、楽しい物語

町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



の絵本をたくさん紹介しています。特に、甲佐町出身の児童文学作家・丘修三さんの「いちねんせいのがっこうたんけん」はぜひ読んでみてください。

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●日時

4月11日(木) 午前10時30分～

●会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター図書室内)

新着図書紹介

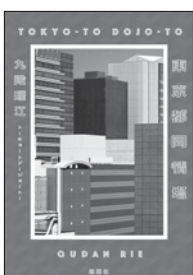
小説



ファラオの密室
白川 尚史 著/宝島社
紀元前1300年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができず、欠けた心臓を取り戻すために地上に舞い戻るが…。第22回「このミステリーがすごい！」大賞受賞作品。



成瀬は天下をいく
宮島 未奈 著/新潮社
中2の夏休みの始まりに幼なじみの成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといふ。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭に…。読むと元気もらえる傑作青春小説です。



東京都同情塔
九段 理江 著/新潮社
寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所が建てられることに。犯罪者に寛容になれる建築家・牧名沙羅は、仕事と信条の乖離(かいり)に苦悩しながら、パワフルに未来を追求する…。第170回芥川賞受賞作品。

児童書



君たちはどう生きるか
宮崎 駿 原作・脚本・監督/徳間書店
火事で母を失った11歳の少年・真人は、なぞの青サギに導かれ、別世界に足を踏み入れた。そこは、死が終わり、生が始まる、ふしぎな場所…。宮崎駿監督10年ぶりの長編アニメ「君たちはどう生きるか」のアニメ絵本です。



放課後ミステリクラブ1
知念 実希人 著/ライツ社
夜の学校。プールに放たれた金魚。だが、なんのために? 4年1組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す! 作家・知念実希人による児童書本格ミステリ。大人が読んで面白い一冊。



下水道のサバイバル
ポダルチング 著/朝日新聞出版
「下水道に怪物がいる」と信じるスリに巻き込まれ、ジオとケイは、ナノサイズに小さくなるヒポクラテス号に乗り込み、一緒に下水道に流されてしまう…。汚物や有毒ガスから無事にサバイバルできるのか? 楽しく読める科学漫画。

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ

「ちぎり絵展示」

●期 間 4月1日(月)～4月14日(日)



「公民館自主講座学習発表会作品展示」

●期 間 4月20日(土)～5月19日(日)

町公民館主催

公民館自主講座学習発表会を開催します



▲昨年の公民館自主講座学習発表会の様子

町公民館では、4月20日(土)町生涯学習センター・ホール及びギャラリーモールにて、公民館自主講座学習発表会を開催します。

ステージ発表では、大正琴、フラダンス、ひまわりダンス、オカリナ、社交ダンス、健康太極拳、3B体操、アコースティックギター、レクレーションダンス、相撲甚句、キッズダンス、町民コーラスの各団体が日頃の練習成果を披露。ギャラリーモール展示では、パッチワーク、水彩画、水墨画、書道、ペン字教室、木工教室が受講者の自慢の作品などを展示します。

新しいことを始めたい方、趣味を見つけたい方にぜひご覧いただきたい発表会です。お友達やご近所のみなさんお誘いあわせのうえご来場ください。

開催日時：4月20日(土) 午前9時30分～

会場：町生涯学習センター・ホール及びギャラリーモール

人権 ～心豊かに暮らすために～

令和5年度甲佐町人権教育映画上映会を開催

2月17日(土)町生涯学習センターホールで、「令和5年度甲佐町人権教育映画上映会」を開催しました。

同上映会は、住民や企業などに部落差別(同和問題)をはじめ、あらゆる人権問題に対する正しい認識と理解を深めてもらうため、甲佐町人権教育推進協議会(田上浩輝会長)が開催。町民、地域リーダー、企業、教職員など85人が鑑賞しました。

【破戒】のあらすじ】
主人公の瀬川丑松(せがわうしまつ)は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼はその出身を隠し通すよう亡き父から強い戒めを受けていた。生徒に慕われる良い教師となったが、出自を隠していることに悩み、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子連太郎(いのこれんたろう)に傾倒していくが、丑松は猪子にすら、自分の出自を告白することができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれ、「人間は

みな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に丑松は強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に教え子たちが待つ最後の教壇へ立ち上るとする。

参加者からは、「多様性を重視される世の中になってきたが、まだまだ偏見がある。『否定してはならない』ことを自分自身に戒める良い機会をありがとうございました。」などとたくさんの方の声がありました。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎096・234・2447

(内線327)



▲映画「破戒」に見入る参加者たち